
平成26年度 小杉駅周辺の新たな魅力づくり推進事業

報告書（概要版）

平成 27 年 3 月

中原区役所まちづくり推進部地域振興課

目次

第1章 武蔵小杉駅周辺地域の新たな魅力づくり推進に向けて	1
1-1. 事業の目的	1
1-2. 平成26年度の事業推進体制	1
1-3. 平成26年度の取組	2
1-4. 取組の推進に係る考え方	2
第2章 武蔵小杉駅周辺地域の全体像	3
2-1. 武蔵小杉駅周辺地域の現状・今後の変化	4
(1) 都市形成	4
(2) 人口	4
(3) 地域コミュニティに関わる組織	5
(4) 地域コミュニティ	9
2-2. 武蔵小杉駅周辺地域の魅力・課題	10
(1) 武蔵小杉駅周辺地域の魅力	10
(2) 短期的に見た武蔵小杉駅周辺地域の課題	11
(3) 長期的に見た武蔵小杉駅周辺地域の課題	12
第3章 武蔵小杉駅周辺地域の目指すべきコミュニティの将来像に向けて	13
3-1. 武蔵小杉駅周辺地域の目指すべきコミュニティの将来像に向けて	13
3-2. 武蔵小杉駅周辺地域におけるコミュニティ形成の方向性	14
3-3. 基本方針	15
第4章 リーディングプロジェクトの推進	16
4-1. リーディングプロジェクトに関する検討	16
(1) ワーキンググループにおける検討	16
(2) ビジネスコミュニティ検討会における検討	16
4-2. リーディングプロジェクトの取組	16
第5章 コミュニティガバナンスの検討	17
5-1. コミュニティガバナンスについて	17
5-2. コミュニティガバナンスの在り方に関する検討の進め方	17
第6章 推進体制・スケジュール	18
6-1. 推進体制	18
6-2. スケジュール	19

第1章 武蔵小杉駅周辺地域の新たな魅力づくり推進に向けて

1-1. 事業の目的

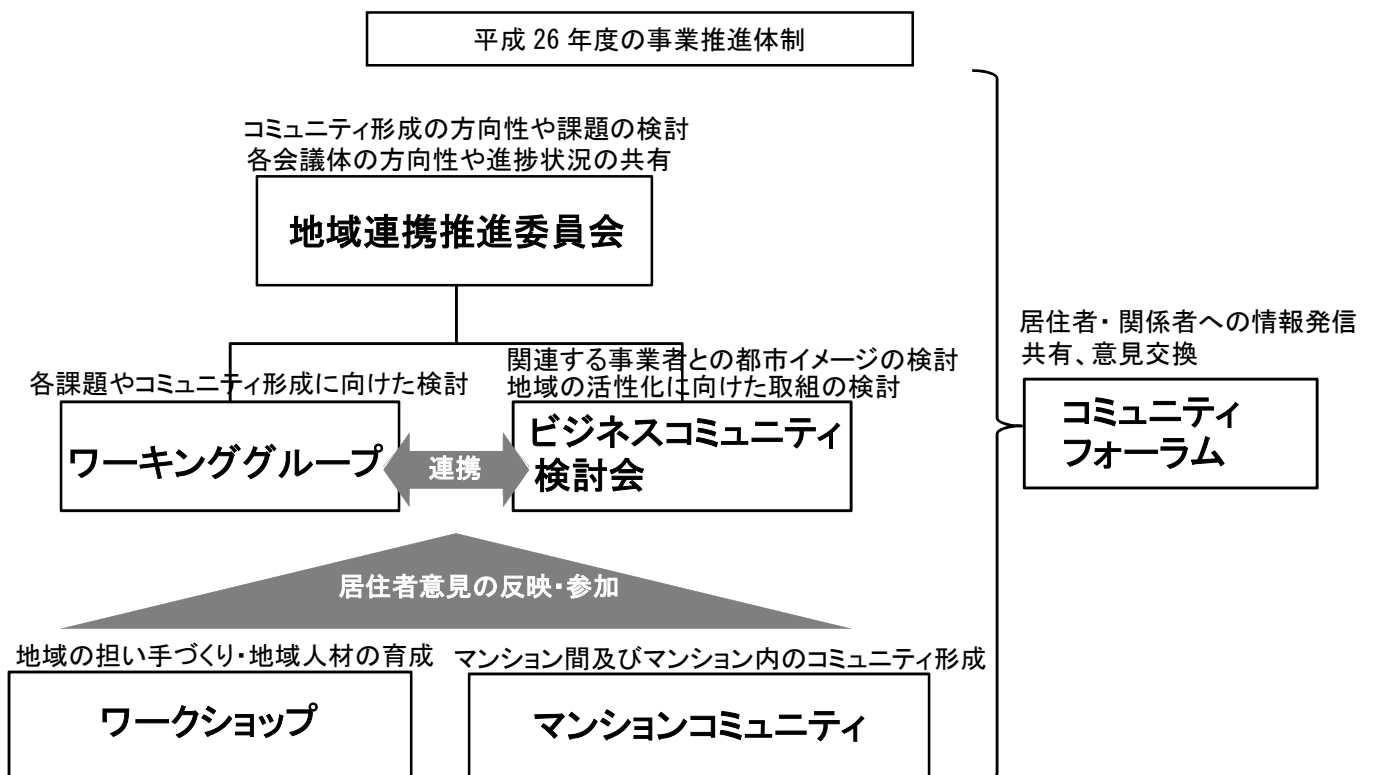
武蔵小杉駅周辺地域では、近年、大規模な再開発が進行しており、高層マンションをはじめ、大型商業施設などが相次いで建設されている。これらの変化に伴い、本地域では、都市としての利便性などから、30～40歳代の若い世代を中心とした大幅な人口の流入と集中が進んでいる。

また、こうした背景のもと、お互いに顔の見える関係をつくり、ともに住みよいまちを創造するためのコミュニティの形成・強化が必要となっている。

本事業は、このような状況を踏まえ、地域コミュニティの強化に向け、地域の現状や課題を調査し、地域が一体となって議論を進めることでコミュニティ意識の醸成を図り、コミュニティ活動の推進及び地域の担い手づくりなどに取り組むものである。

1-2. 平成 26 年度の事業推進体制

平成 26 年度は、産学公民によるまちのイメージ共有や意見交換ができる環境づくりを目的として、平成 25 年度に設置した武蔵小杉駅周辺地域連携推進委員会（以下、「地域連携推進委員会」とする。）の下に、ワーキンググループとビジネスコミュニティ検討会を設置するとともに、ワークショップやマンション間のコミュニティ形成に取り組み、地域の主体・関係者と意見や情報を交換できる体制を構築することにより事業を推進した。



1-3. 平成 26 年度の取組

平成 26 年度は前述の推進体制に記載した会議体等を開催し、地域の主体や関係者と地域の現状や課題、今後の取組の方向性等を検討した。

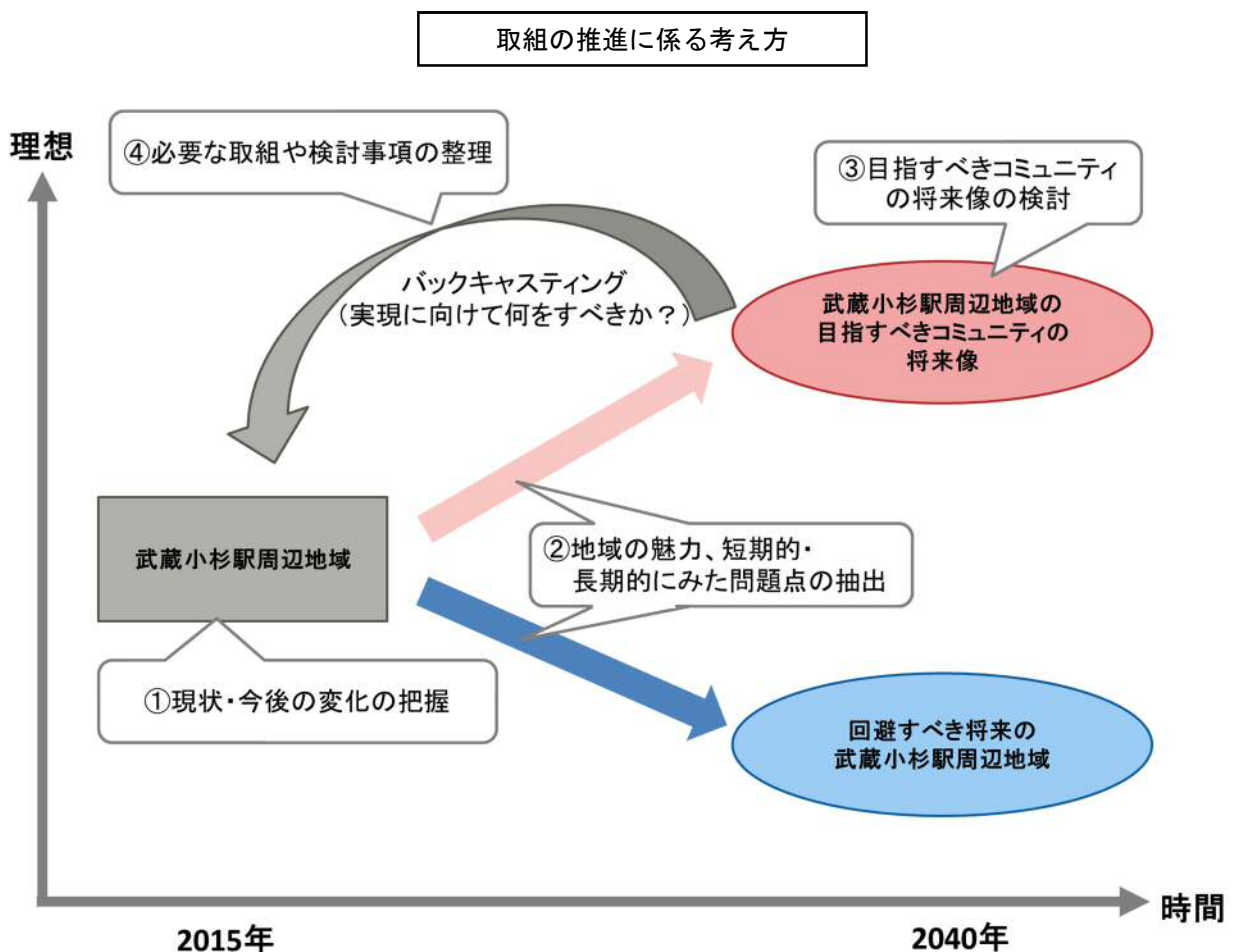
また、検討に必要な情報を収集するため、武蔵小杉駅周辺地域の居住者を対象としたアンケートやグループインタビューなどの調査を実施した。

1-4. 取組の推進に係る考え方

地域の主体・関係者が一体となって取組を推進していくためには、目指すべきコミュニティの将来像を共有し、将来像から現在を振り返って「これから何をすべきか」を考えていく“バックキャスティング”の考え方により、必要な取組や検討事項を整理することが有効である。また、目指すべき将来像の検討に際しては、回避すべき将来の姿を見据えながら、本地域の魅力や短期的・長期的な課題を抽出しておくことが有効である。

したがって、本事業では、本地域の現状と今後の変化を捉えた上で、魅力や課題を抽出し、それらを踏まえて、目指すべきコミュニティの将来像及びその実現に向けた取組の方向性を検討していくこととした。

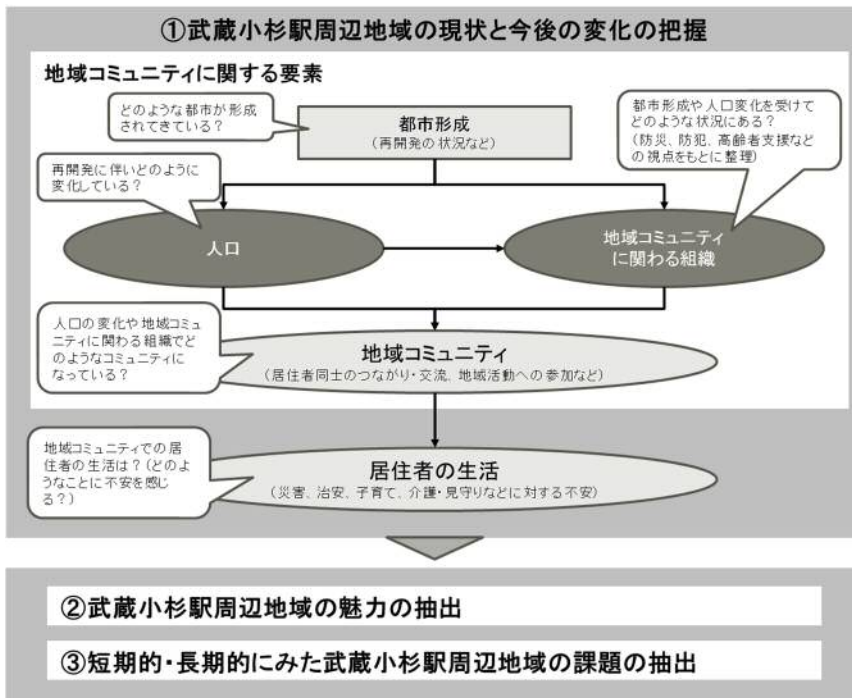
以下、本事業における取組の推進に係る考え方を示す。



第2章 武蔵小杉駅周辺地域の全体像

本章では、各会議体での検討結果や各調査結果をもとに、武蔵小杉駅周辺地域の現状と今後の変化を把握する。その上で本地域の魅力や、短期的・長期的に見た本地域の課題を抽出する。

本章の流れ



インプット情報

平成25年度

- 統計調査
- 地域外の居住者へのWebアンケート調査
- 地域の主体・関係者へのヒアリング調査
- 居住者グループインタビュー (子育て世代の女性)
- 各会議体での意見交換

平成26年度

- 居住者アンケート調査
- 地域の主体・関係者へのヒアリング調査
- 居住者グループインタビュー (高齢者)
- 各会議体での意見交換

2-1. 武蔵小杉駅周辺地域の現状・今後の変化

(1) 都市形成

本項では、再開発に伴い武蔵小杉駅周辺地域でどのような都市が形成されているか、また、今後どのような変化が考えられるかについて挙げる。

<都市形成の現状>

- 市の広域拠点としての都市機能充実に向け、既成市街地で大規模な再開発が進行している。
- 大規模な再開発に伴い、全国有数の高層マンションの集積地域となっている。
- JR 横須賀線新駅の開業により、交通の結節点としての役割が更に高まっている。
- 武蔵小杉駅前の広場や公園の整備が完了して、新たなにぎわいの場が誕生している。
- 大型商業施設の進出や市立図書館のリニューアルなどにより、来街者が増加している。
- 綱島街道などの主要幹線道路が拡幅されている。
- 地区計画等に基づき複数の民間開発が推進されている。

<都市形成の今後の変化に関連する事項>

- 再開発に伴い都市機能が充実する一方で、急速な都市化に伴う課題も発生してきている。

<都市形成の今後の変化（2040年）>

- 今後は都市機能の整備が完了して、市の広域拠点として都市が成熟してくる。
- 再開発が完了して都市の成熟化に伴う変化が生じてくることが考えられる。
(マンションや施設の修繕・建替・移転の発生、空き部屋・空き家の発生等)

(2) 人口

本項では、再開発等に伴う、武蔵小杉駅周辺地域の人口（居住者）の現状や今後考えられる変化について挙げる。

<人口の現状>

- 平成17年以降、高層マンションの建設により、急速に人口が増加している
- 高層マンション居住者は、働き世代や子育て世代が中心となっており、地域内の年齢構成が大きく変化している。

<人口の今後の変化に関連する事項>

- 人口が増加している一方で、本地域の居住者は他都市と比較して移転意向が高い。
- 結婚や出産、子どもの進学、退職などをきっかけとした移転意向がうかがえる。

<人口の今後の変化（2040年）>

- 今後も人口増加が予想されるが、再開発の完了などに伴い、将来的には高齢者や非定住志向の居住者が増加する可能性もある。

(3) 地域コミュニティに関わる組織

本項では、武蔵小杉駅周辺地域における再開発や人口増加の中で、地域コミュニティに関わる組織がどのような状況にあるのか、また、今後、どのような変化が考えられるかについて、ワーキンググループでの検討結果や各調査などを踏まえながら挙げる。

<ワーキンググループにおける検討内容・結果>

① 第1回ワーキンググループ

町内会・自治会、特定非営利活動法人 小杉駅周辺エリアマネジメント（以下、「NPO 法人エリマネ」という。）等、地域コミュニティに関わる組織の現状について検討した。

【検討結果（要点）】

- 町内会・自治会と NPO 法人エリマネの現状として、各組織は「エリア」、「機能」、「ノウハウ」、「人材」、「資金」の面で課題を持っている。

町内会・自治会と NPO 法人エリマネにおける組織としての現状・課題

エリア	町内会・自治会と NPO 法人エリマネが活動・管理するエリアが不明確になってきている。
機能	町内会・自治会が取り組んできた地域コミュニティに必要な機能が失われていく可能性がある。
ノウハウ	地域コミュニティに必要な町内会・自治会のノウハウが失われていく可能性がある。
人材	町内会・自治会、NPO 法人エリマネともに人材が不足している。
資金	組織によって会費の支払い状況は異なっている。 会費の支払い状況に関係なく参加者を受け入れるお祭りなどの活動が資金を逼迫している。

町内会・自治会や NPO 法人エリマネが持つこれらの課題を解決するためには、組織の枠組みを越えて「活動範囲の整理」、「機能の整理」等に取り組む必要性がある。

町内会・自治会と NPO 法人エリマネにおける組織としての課題解決に向けた事項

活動範囲の整理	地域コミュニティに関わる組織が活動するに当たっては、組織の違いを踏まえた活動範囲の明確化が必要である。
機能の整理	地域コミュニティにおいて各組織がそれぞれどの機能を担うのか、取り組むべき活動の明確化が必要となる。
組織形態の検討	地域コミュニティに必要な町内会・自治会の機能やノウハウを残すために、組織間の連携などを検討することが求められる。
資金の検討	各組織が地域コミュニティに必要な活動に継続的に取り組むための資金確保の仕組みを検討する必要がある。
組織への加入方法の検討	居住者個人が組織の活動を認知・理解して加入できる仕組みを検討することが重要である。

② 第2回ワーキンググループ

町内会・自治会の持つ機能や状況等について検討した。

【検討結果（要点）】

- 町内会・自治会の活動には、環境美化、防災、防犯など地域に係る活動や行政から依頼される諸委員の活動などがあるが、会員の減少や役員の高齢化などにより、役割や負担が大きくなっている。
- 行政の依頼している活動について改めて整理して、担う役割や組織を検討していくことが望ましい。

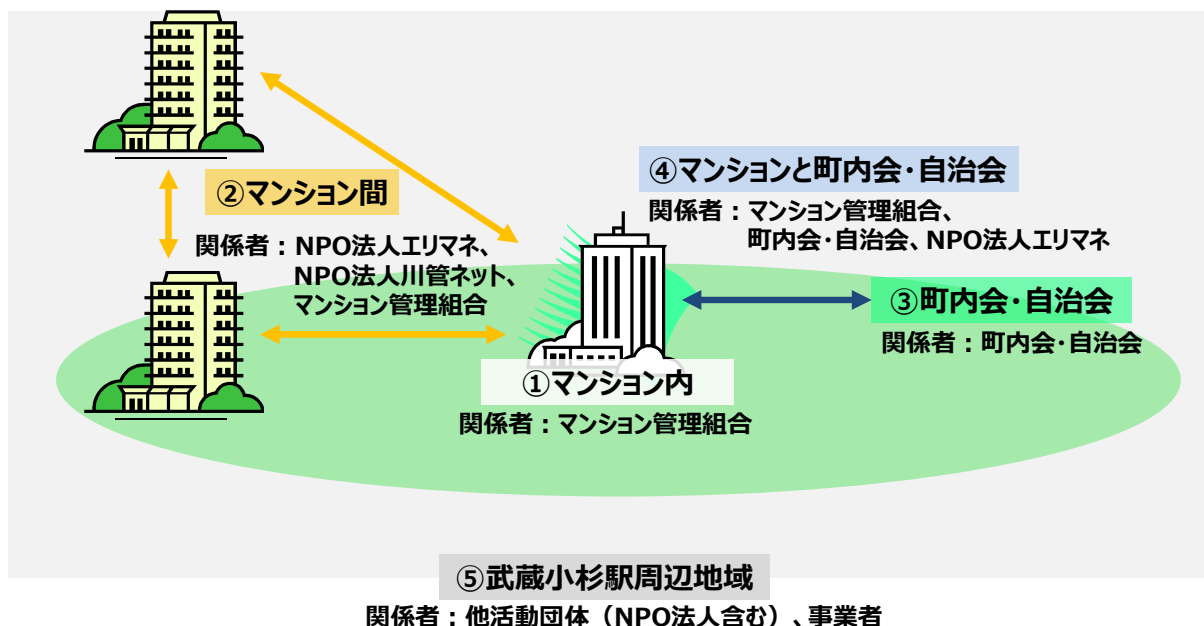
③ 第3回ワーキンググループ

5つのコミュニティの関係（①マンション内、②マンション間、③町内会・自治会、④マンションと町内会・自治会、⑤武蔵小杉駅周辺地域）を想定し、「高齢者支援」をテーマに現状や課題について検討した。

【検討結果（要点）】

- マンションに居住する高齢者の支援では、セキュリティ上、居住者の情報把握や訪問がしづらくなっているという課題が生じている。
- 居住者同士で、高齢者を緩やかに支援するため、マンション内のコミュニティ活動を促進するための体制・仕組みづくりや、コミュニティ活動に対する関心を深める取組が必要になる。
- 地域コミュニティに関わる組織は、高齢者支援も含め、担う役割が増えており、人材不足の解消や負担の軽減等を図る対策が必要である。
- 将来的には、高齢者の見守りなどのニーズが高まる一方で、町内会・自治会における人材は、より一層減少することが懸念される。そのため、今後は、アクティブシニアが、高齢者支援の担い手として活躍できる仕組みを検討することなどが考えられる。また、町内会・自治会のみならず、地域全体で高齢者が活躍できる活動の場づくりに取り組むことが重要となる。

武蔵小杉駅周辺地域におけるコミュニティの関係



④ 第4回ワーキンググループ

5つのコミュニティの関係を想定し、「防災」と「防犯」をテーマに現状や課題について検討した。

【検討結果（要点）】

＜防災に関する検討結果＞

- マンションでは、防災対策として、独自に自主防災組織を立ち上げている場合や、同じフロアの居住者同士が共助できる関係づくりなどの新たな仕組みづくりに取り組んでいる場合がある。
- 災害時停電になった場合等に、マンションから地域へ避難することも想定される。そのため、地域の主体・関係者が、災害時の避難行動について、詳細な情報を共有することが重要となる。
- 現時点では、町内会・自治会の自主防災組織と、マンションの防災組織（自主防災組織含む）との連携が十分に図られているとは言えないことから日々のコミュニティづくりが重要である。
- 中原区には、区全体の防災力向上を検討するための組織として、「中原区防災連携協議会」が設立されており、今後は、中原区防災連携協議会と自主防災組織のネットワーク連携をより強化することが求められる。

＜防犯に関する検討結果＞

- マンションでは、セキュリティ上、空き巣や強盗などの犯罪は発生しにくいですが、地域の中で犯罪に巻き込まれるリスクはマンション居住者も戸建て居住者も同様である。また、高層マンションでは、立地や建物の構造上、登下校時の子どもの見守りを実施しにくい。
- 地域では、「子ども110番」など通学路に立地する戸建て住宅の居住者や、店舗の店員などによって子どもの見守りが行われているものの、登下校時の子どもを見守る町内会・自治会などでは、役員の高齢化等により、防犯活動に取り組む人材が不足している。
- マンションと近隣地域が互いに地域の防犯活動を担うなど、防犯について補完し合える関係を構築することが望まれる。

＜地域コミュニティに関わる組織の現状＞

① マンション内

マンションのコミュニティには、主にマンション管理組合が関係しているが、管理組合の主な役割は、大規模修繕などマンションの資産価値の維持に取り組む際の居住者同士の合意形成等である。

また、本地域のマンションでは、マンション内で自治会に代わる組織や部会、委員などを設置している場合も見られる。

現状としては以下のとおりである。

- マンション管理組合によるコミュニティ活動は、管理組合の目的や制度上活発化しにくい。
- 居住者間の合意形成が図りづらく、マンション管理組合の活動自体に支障を来している場合もある。
- マンション管理組合以外のコミュニティ活動に係る組織体制は各マンションごとに異なり、更にコミュニティ活動の実施状況にも差がある。

② マンション間

マンション間のコミュニティには、マンション管理組合や、加入するマンション間の情報共有などに取り組むNPO法人エリマネなどが関係している。

また、中原区には、マンション管理を中心とした情報共有や、マンション管理組合の理事同士の交流促進などに取り組むNPO法人かわさきマンション管理組合ネットワーク（以下、「NPO法人川管ネット」とする。）が存在する。

本地域では、高層マンションの増加に伴い、各マンションの課題解決や資産価値の維持などについて、マンション間での知見・情報の共有などが推進されることが望まれる。

現状としては以下のとおりである。

- NPO法人エリマネやNPO法人川管ネットが、マンション管理組合間の情報共有を実施している。
- 知見・ノウハウの共有や意識の啓発を図れる機会・場の活用が不十分である。

③ 町内会・自治会

武蔵小杉駅周辺地域のエリア（町丁）ごとのコミュニティには、従来からの地域コミュニティに関わる組織である町内会・自治会が関係している。町内会・自治会では、防災・防犯や見守りなど地域の安全・安心の確保や、清掃・資源回収など地域の環境維持及び居住者の交流・親睦の促進などの役割を担っている。

現状としては以下のとおりである。

- 町内会・自治会独自の活動と行政からの依頼による活動を実施している。
- 加入者及び役員の減少により、活動が困難になるとともに、役員が任期なしで活動している場合もある。
- 役員交代の際に引継ぎができず、情報やノウハウが継承されていない場合もある。

④ マンションと町内会・自治会

町内会・自治会のエリアにマンションが立地している場合のコミュニティには、マンション管理組合と町内会・自治会、NPO法人エリマネ等が関係している。これらの各主体は、防災・防犯や高齢者の見守り、環境美化など、従来からの居住者とマンション居住者の生活に共通して関わる課題への対応や、居住者同士の交流・親睦の促進などに連携して取り組むことが望まれる。

現状としては以下のとおりである。

- マンションが立地するエリアを対象とした活動の実施主体が曖昧になっている。
- 地域を対象とした活動についてマンションからの担当者の選出は少ない。
- 町内会・自治会とマンション間で情報の共有や活動の連携が不足している。

⑤ 武蔵小杉駅周辺地域

地域コミュニティには、地域全体を対象として、課題解決やまちの価値向上を図るために実施される公益的なイベントや活動、サービスが必要であり、それらの取組は、NPO法人を含む活動団体や事業者（企業など）が担うことも期待される。

現状としては以下のとおりである。

- 商店街においても、祭りや子どもの見守りなどの活動を実施している。
- NPO法人エリマネが、地域内で様々なテーマの活動を展開している。

- 本地域と関わりのある事業者は、特定の小エリアを対象として個々に活動している場合が多い。
- 地域の課題解決のための取組について主体・関係者間の活動の連携を強化する必要がある。
- 活動実施に当たり活動団体は人材の確保、事業者は事業採算性の確保が必要となっている。

<地域コミュニティに関わる組織の今後の変化に関連する事項>

- 町内会・自治会の加入率は年々減少傾向にあり、居住者は組織活動に参加するに当たり「義務感」等の負担を感じている。
- 居住者は地域活動に取り組む組織に対して、「参加しやすさ」や「気軽さ」を求めている。

<地域コミュニティに関わる組織の今後の変化（2040年）>

- 緩やかな活動を望む居住者が増加し、NPO法人エリマネ等、地域の活動団体に求められる役割が増加してくる。
- 事業者が地域活動をサービスとして代行する場合が出てくることも考えられる。

(4) 地域コミュニティ

本項では、武蔵小杉駅周辺地域における人口の増加や、地域コミュニティに関わる組織の状況を受けて、本地域でどのようなコミュニティが形成されているか、今後はどのような変化が考えられるかについて挙げる。

<地域コミュニティの現状>

- 若い単身・夫婦のみの世帯を中心に居住者同士の関わりが希薄になっている。
- マンション居住者は、居住者同士の交流に距離感を保ちたいと考えている傾向にある。
- 多くの居住者が地域活動に参加しておらず、地域への誇りや愛着を持ちにくい傾向にある。

<地域コミュニティの今後の変化に関連する事項>

- 居住者は、地域活動に対して参加の意向はあるが、時間の確保や情報の入手がしづらいことや、参加者・主催者が分からないことから、参加しにくい状況にある。
- 地域活動の企画・運営に参加したい意向がある居住者は少ない。

<地域コミュニティの今後の変化（2040年）>

- 今後は、緩やかなつながり（ウィークタイズ）を求める居住者がより一層増加する可能性がある。
- 地域内での居住者同士の交流や地域活動への参加が減少して、地域に対して誇りや愛着を持たない居住者が増加する可能性がある。

2-2. 武蔵小杉駅周辺地域の魅力・課題

前節で考察した武蔵小杉駅周辺地域の現状・今後の変化を踏まえ、本地域にはどのような魅力があり、一方で、短期的・長期的にどのようなコミュニティに関する課題があるのかを整理する。

(1) 武蔵小杉駅周辺地域の魅力

武蔵小杉駅周辺地域の主な魅力

都市形成	<ul style="list-style-type: none"> • <u>再開発によりコンパクトなエリアに都市機能が充実</u> ⇒ “住みたいまち”、“訪れたいまち” へと変化 ➢ 交通利便性が向上 ➢ 高層マンションが集積 ➢ 大型商業施設が複数オープン ➢ 公共施設の整備が進行 ➢ まちに話題性・将来性あり ➢ 豊かな自然や歴史的な風景が身近にある
人口	<ul style="list-style-type: none"> • <u>働き世代や子育て世代など若い居住者が増加</u> ➢ 若い世代の転入
地域コミュニティに関わる組織	<ul style="list-style-type: none"> • <u>町内会・自治会や商店街などの組織が伝統的な活動を継続して実施</u> ➢ 町内会・自治会が地域の祭りなどを毎年開催 ➢ 商店街がこすぎ名物花見市などを毎年開催 • <u>新たな居住者が中心的役割を担う組織による活動が活発化</u> ➢ NPO 法人エリマネがコスギフェスタやこすぎの大学などを開催

(2) 短期的に見た武蔵小杉駅周辺地域の課題

短期的に見て想定される武蔵小杉駅周辺地域のコミュニティに関する主な課題

都市形成	<ul style="list-style-type: none"> • <u>再開発に伴う環境の変化</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ まちの急速な変化に対する居住者の不安
人口	<ul style="list-style-type: none"> • <u>他都市と比較して移転意向が高い</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 結婚や出産、子どもの進学、退職などをきっかけに転出する可能性が高い
地域コミュニティに関わる組織	<ul style="list-style-type: none"> • <u>新たな居住者の増加に対して地域コミュニティに関わる組織の体制・役割分担・活動の見直しが不十分</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域コミュニティへの参加を新たな居住者に積極的に促す体制・仕組みがない ➢ 高齢者の見守りなどについて組織間での役割分担が不明確 ➢ 町内会・自治会やNPO 法人エリマネなどでは、人材の確保が厳しい状況の中、役割や負担が増加するとともに特定の人に集中 ➢ 地域コミュニティに関わる組織が個別に地域活動を実施
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> • <u>地域コミュニティと関わりが少ない居住者の増加</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 居住者同士の交流の必要性に対する意識が薄い ➢ 仕事や子育てが忙しく地域活動に関われない ➢ 地域の情報が入手できない ➢ 活動団体とのつながりがなく参加しにくい ➢ 地域の歴史や文化に誇りを感じていない

(3) 長期的に見た武蔵小杉駅周辺地域の課題

長期的に見て想定される武蔵小杉駅周辺地域のコミュニティに関する主な課題

都市形成	<ul style="list-style-type: none"> • <u>再開発完了により都市としての成熟化に伴う変化が発生</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 都市部特有の環境課題が新たに発生 ➢ 高層マンションなどで大規模修繕が発生 ➢ 高層マンションでは空き部屋、地域では空き家が発生 ➢ 商店街などに立地する個人店舗が減少
人口	<ul style="list-style-type: none"> • <u>居住者の高齢化・グローバル化の進行とともに、非定住志向の居住者が増加</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高層マンションなどにおいて賃貸契約の居住者など、非定住志向の居住者が増加
地域コミュニティに関わる組織	<ul style="list-style-type: none"> • <u>地域コミュニティ形成の担い手が不足して、組織の活動が困難</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 町内会・自治会では、会員・役員の減少により活動が困難 ➢ NPO 法人エリマネなどその他活動団体では、地域コミュニティに関わる役割が増える一方で、会員・役員の高齢化が進行
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> • <u>地域コミュニティへの関わりが少ない居住者の割合が更に増加</u> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 様々な要因により、居住者同士の交流や地域活動への関わりが少ない居住者が増加 ➢ 地域コミュニティと関わりが少ない居住者の増加に伴い、安全や安心に関する地域の対応力が懸念される。

第3章 武蔵小杉駅周辺地域の目指すべきコミュニティの将来像に向けて

3-1. 武蔵小杉駅周辺地域の目指すべきコミュニティの将来像に向けて

武蔵小杉駅周辺地域は、再開発に伴い、都市としての利便性が向上している他、居住者の年齢構成が変化しており、多様な人々が住まい訪れるまちへと変化してきている。

このような中で、新たな居住者による地域活動も活発になってきているなど、新たな魅力が生まれてきている一方で、地域コミュニティに関わる組織が活動する上での困難さや地域コミュニティと関わりが少ない居住者の増加等の課題も生じてきている。

そのため、今後、本地域では、創造的思考を持って魅力向上や課題解決を図り、その過程を通じて、従来からの居住者と新たな居住者など本地域の多様な居住者がつながり、顔の見える関係を構築することで「持続可能なコミュニティ」を目指すことが期待される。

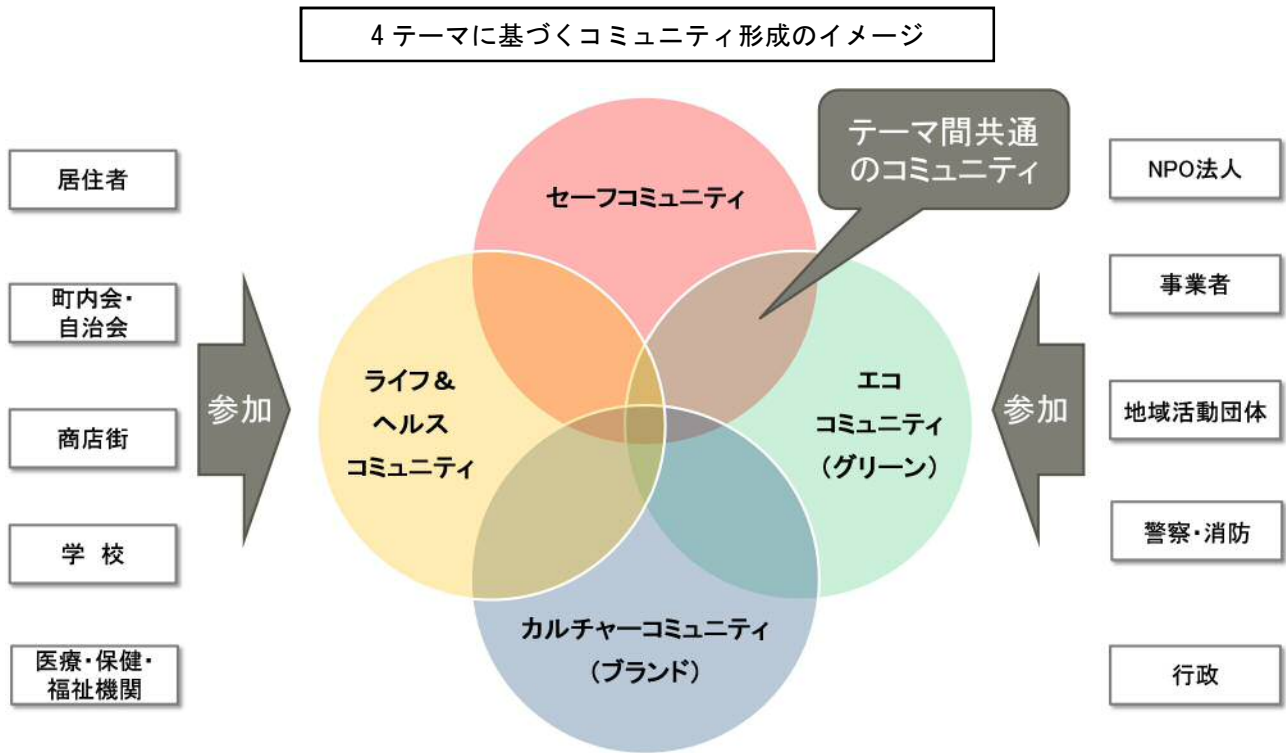
3-2. 武蔵小杉駅周辺地域におけるコミュニティ形成の方向性

平成 25 年度及び平成 26 年度に実施した各調査結果や会議体での意見交換結果をもとに、本地域の魅力向上や課題解決に向けて取り組むべきテーマを整理すると、以下のように、大きく 4 テーマに大別することができる。

武蔵小杉駅周辺地域の魅力向上や課題解決に向けたコミュニティテーマ

テーマ	地域の現状(例)	キーワード(例)
セーフコミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学時における混雑など目に見える危険や、震災時における帰宅困難者の発生など現時点で想定される危険について、地域の関係者が一体となった対策に向けた議論が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 防災 防犯 交通安全
エココミュニティ (グリーン)	<ul style="list-style-type: none"> ニヶ領用水や等々力緑地などが近くにあり、もも、つつじなど豊かな自然を感じたり、触れたりできる 自然環境の豊かさを居住者が十分に魅力として感じるできていない 公園など公的空間について一元的に管理・運営する主体がおらず、有効活用できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃美化 自然環境 農業(作物/地産地消) 資源循環 省エネルギー
カルチャーコミュニティ (ブランド)	<ul style="list-style-type: none"> コスギフェスタが地域を代表するイベントになるなど新たな居住者による新たな文化が生まれてきている 従来からある伝統的な行事や祭礼を取りやめるケースが見られ、伝統文化の継承が求められている 本地域の魅力として交通の利便性などが評価されているが、地域の特長となるイメージなどは確立されていない 再開発に複数の企業が関わっていることから、統一されたコンセプトに基づく取組が難しい状況にある 	<ul style="list-style-type: none"> 文化 (音楽、映像、歴史、祭り、ファッション等) 教育 (読書、世代間交流、国際交流、学び、遊び等) 商業 (マルシェ、コミュニティカフェ等)
ライフ&ヘルス コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する情報や交流機会が少なく、子育て世代を中心に子育て環境が良くないと感じている場合がある 高齢者に関して、居住者同士の見守りなどは浸透しておらず、介護や閉じこもりなどへの対策が今後懸念される 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て 高齢者 健康管理 (スポーツ、食育、栄養、医療、検診等)

これらのことから、本地域におけるコミュニティ形成の方向性としては、魅力向上や課題解決に向けた4つのコミュニティテーマに基づく具体的な取組を進め、居住者同士の顔の見える関係を構築していくことが望ましいと考えられる。



3-3. 基本方針

4つのコミュニティテーマに基づく取組の推進によるコミュニティの形成を図るとともに、その基盤となる地域コミュニティに関わる組織が、自主的・自律的に、他組織と連携しながら地域を管理運営していくため“コミュニティガバナンス”の在り方を検討する。

これらの取組のうち、先導的に実施していく取組を「リーディングプロジェクト」として位置付ける。

■ 4つのテーマに基づく取組の推進によるコミュニティ形成

4つのテーマに基づく取組の推進によるコミュニティ形成においては、町内会・自治会やNPO法人エリマネ、事業者などが取り組む既存の活動を連携し、本地域の主体・関係者間のつながりを創出しながら、持続可能なコミュニティの形成を目指す。

■ コミュニティガバナンスの検討

コミュニティガバナンスの検討においては、地域コミュニティに関わる組織（町内会・自治会、NPO法人エリマネ、マンション管理組合など）が担う役割と協体制の在り方について検討し、その強化を目指す。

第4章 リーディングプロジェクトの推進

4-1. リーディングプロジェクトに関する検討

前章の基本方針に掲げた「4つのテーマに基づく取組の推進によるコミュニティの形成」について、ワーキンググループ及びビジネスコミュニティ検討会での検討結果を踏まえて、具体的なリーディングプロジェクトを検討した。

(1) ワーキンググループにおける検討

ワーキンググループでは、地域における既存の取り組みを活用した方法として、NPO 法人エリマネが主催するコスギフェスタやこすぎの大学などの活動を活かして、地域の主体・関係者同士の連携や、活動を担う人材の育成などにつなげていくべきとの意見が挙がった。

地域における既存の取り組み



コスギフェスタ



こすぎの大学

(2) ビジネスコミュニティ検討会における検討

ビジネスコミュニティ検討会においては、事業者の視点からリーディングプロジェクトを推進していくに当たって必要な体制や仕組みなどについて意見交換が行われた。また、事業者へのヒアリング調査なども実施しながらリーディングプロジェクトを検討した。

4-2. リーディングプロジェクトの取組

ワーキンググループ及びビジネスコミュニティ検討会における検討や第2章で整理した武蔵小杉駅周辺地域の状況を踏まえ、次年度以降、地域の主体・関係者との連携を図りながら、具体的な取組の検討を進めることとした。

第5章 コミュニティガバナンスの検討

5-1. コミュニティガバナンスについて

第2章では、5つのコミュニティの関係を想定し、地域コミュニティに関する組織の現状や課題について整理したが、その結果からは、本地域では、地域コミュニティを担う組織の役割や協力体制など、コミュニティガバナンスの在り方を検討していくことが望まれる。

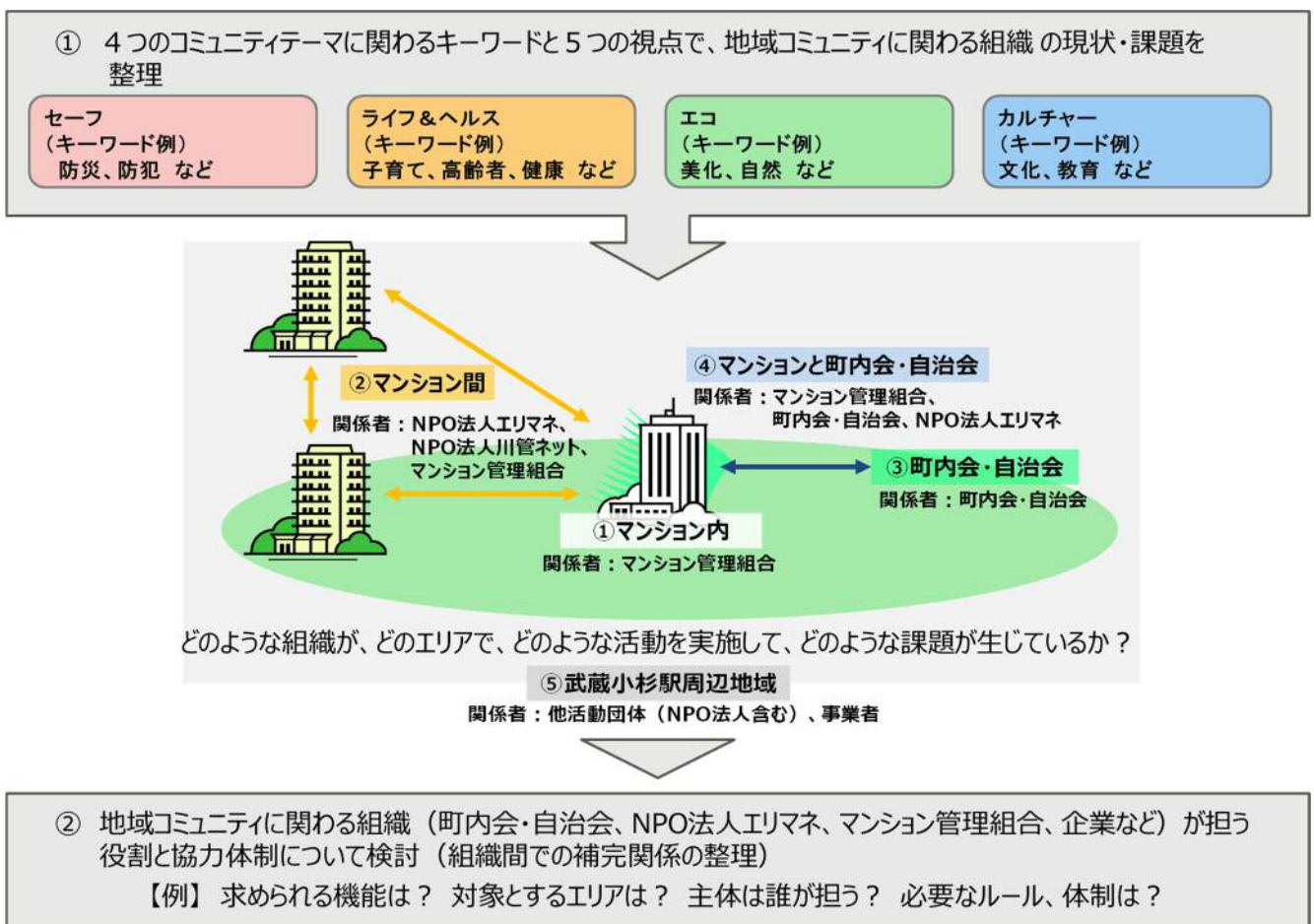
5-2. コミュニティガバナンスの在り方に関する検討の進め方

コミュニティガバナンスの在り方に関する検討について、進め方は以下のとおりである。

平成26年度に引き続き、①マンション内、②マンション間、③町内会・自治会、④マンションと町内会・自治会、⑤武蔵小杉駅周辺地域という5つの視点から、どのような組織が、どのエリアで、どのような活動を実施して、どのような課題を抱えているかなど現状と課題を整理する。

そして、地域コミュニティに関わる組織（町内会・自治会、NPO法人エリマネ、マンション管理組合など）の担う役割、協力関係について検討（組織間での補完関係の整理等）を進める。

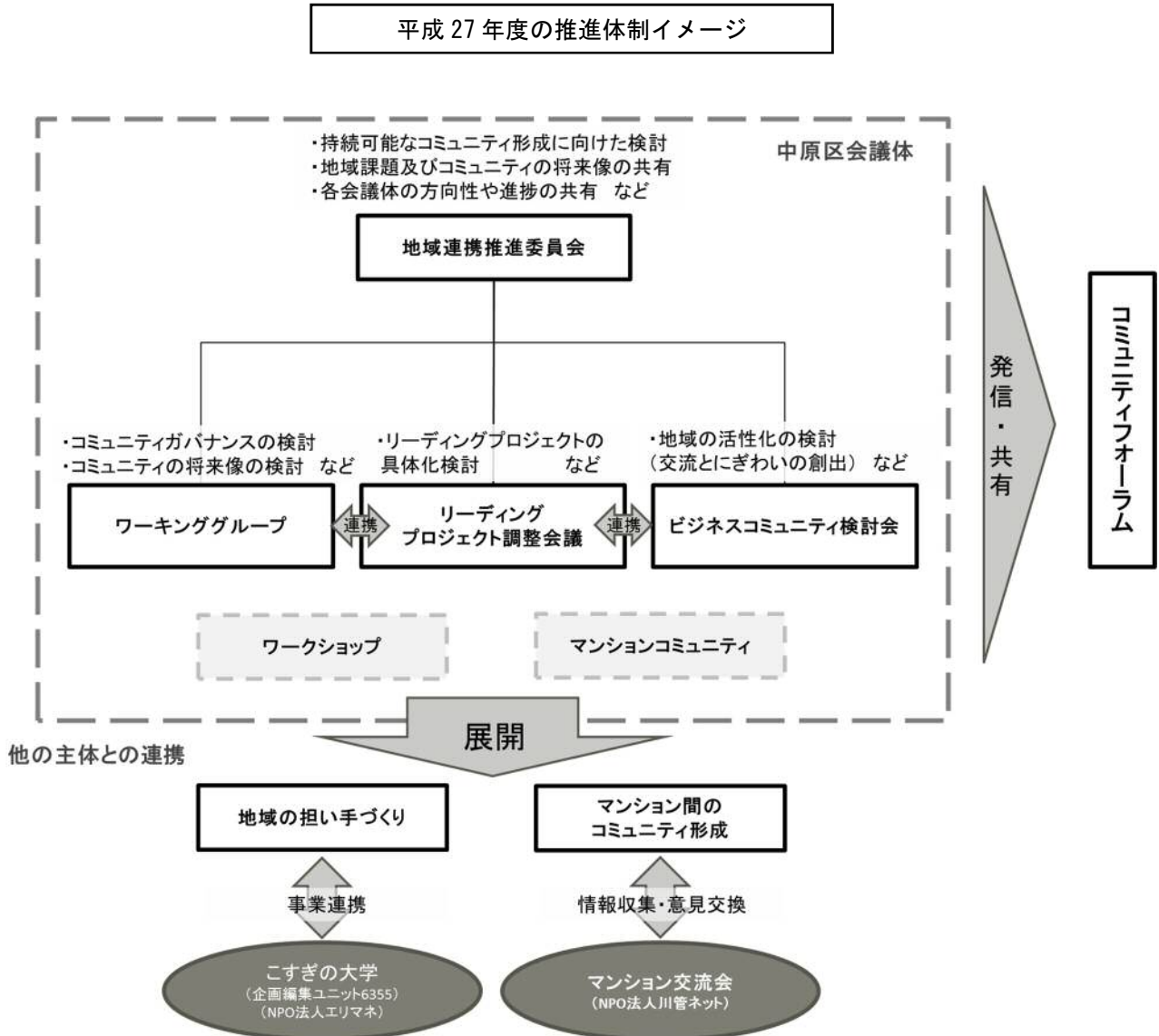
コミュニティガバナンスの在り方に関する検討の進め方イメージ



第6章 推進体制・スケジュール

6-1. 推進体制

平成 26 年度の活動を踏まえて、持続可能なコミュニティの形成に向けた検討、コミュニティガバナンスの検討及びリーディングプロジェクトの推進等を実施する上での平成 27 年度の中原区の推進体制のイメージは以下のとおりである。



6-2. スケジュール

平成 27 年度以降の直近 3 か年で想定するスケジュールは以下のとおりである。

平成 27 年度以降 3 か年のスケジュール

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域コミュニティの強化に向けた検討 ・コミュニティの将来像の明確化 ・コミュニティガバナンスの在り方の検討 ・地域の主体・関係者との調整	←→		
リーディングプロジェクトの推進 ・リーディングプロジェクトの具体化の検討 ・リーディングプロジェクトの実施・検証 ・地域の主体・関係者との調整	←→		
地域の活性化に向けた検討 ・事業者と連携した賑わいの創出に向けた検討	←→		
コミュニティガバナンスの強化のための検討 ・コミュニティガバナンスの強化に向けた検討 ・地域の主体・関係者との調整		←→	
地域コミュニティ強化のための具体的取組の検討 ・今後の具体的な事業計画の検討 ・地域の主体・関係者との調整			←→

平成26年度 小杉駅周辺の新たな魅力づくり推進事業 報告書（概要版）

平成27年3月発行

発行 中原区役所まちづくり推進部地域振興課
〒211-8570 川崎市中原区小杉町 3-245
TEL 044-744-3282
FAX 044-744-3346
